

ブラジル金融政策（2023年11月）

3会合連続となる0.5%ポイントの利下げ

2023年11月2日

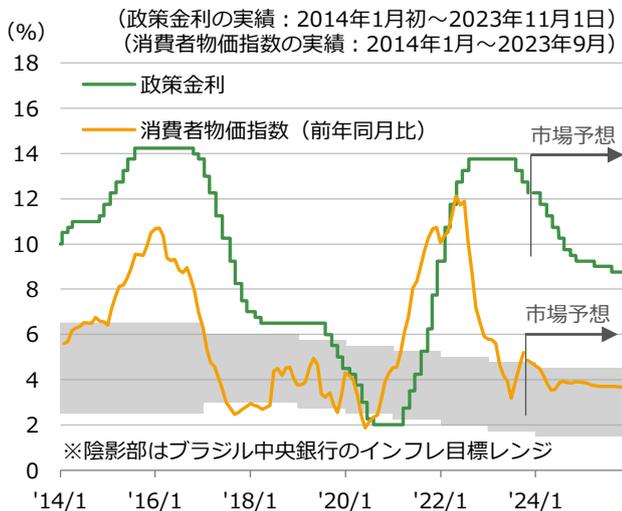
今後も0.5%ポイントずつの利下げ継続が基本線

ブラジル中央銀行は11月1日（現地）、金融政策決定会合を開催し、市場予想通り政策金利を12.75%から12.25%に引き下げることを決定しました。3会合連続となる0.5%ポイントの利下げです。

インフレ率（消費者物価指数・前年同月比）は、8月の4.6%から9月に5.2%へと伸びが加速し、インフレ目標レンジの上限を超えました。しかし、足元の加速は昨年後半の減税による押し下げ効果のはく落や今年半ば以降の原油価格上昇の影響が大きく、今後は鈍化すると市場では見込まれています。こうした中、声明文では、インフレ沈静化に向けたプロセスは進展したとの認識を示し、今回の利下げは2025年にかけてインフレ率が目標中心値の3%付近に収束するとの見通しなどに基づいた決定と説明しています。

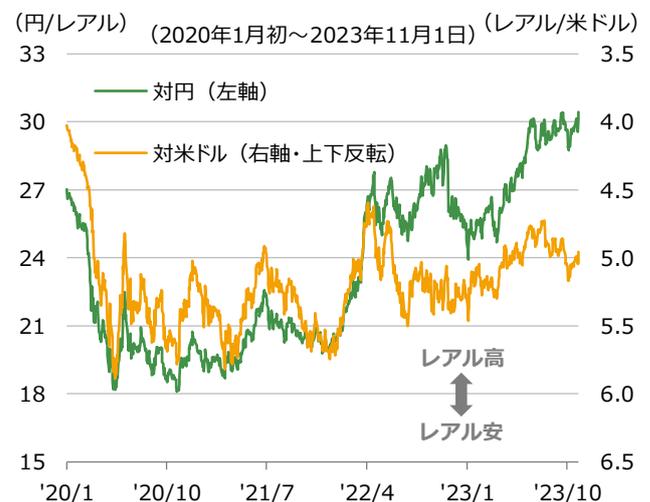
今後の方針に関しては、中銀の見通しに沿って事態が進展することを前提に、「今後複数の会合における同じ幅の追加利下げを全会一致で予想する」と記しています。前回会合以降に米国の長期金利が上昇し、リアル安（米ドル高）が進行したことで、ブラジル中銀の金融政策担当ガリポロ理事は10月17日に「為替相場が金融政策に及ぼす影響を懸念している」と発言したほか、今会合の声明文でも先行き不透明な海外経済の動向がインフレ見通しならびに金融政策に影響を与える可能性を示唆しています。直近では米国の長期金利上昇やリアル安に一服感が出ており、早期に政策方針が修正される可能性は低いとみられますが、外部環境の変化に対するブラジル中銀の柔軟な対応姿勢は為替相場の安定につながると考えられます。

ブラジルの政策金利とインフレ率



※政策金利の予想は2023年12月会合～2025年11月会合
※消費者物価指数の予想は2023年10月～2025年10月
(出所) ブルームバーグ、ブラジル中央銀行

ブラジル・レアルの対円・対米ドルレート



当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。